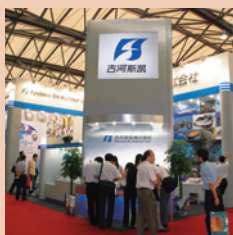


社会への取り組み

古河スカイグループは、お客様、仕入先様、株主・投資家、地域社会、従業員など、さまざまなステークホルダーに対して負っている責任を積極的に果たし、社会から信頼され、持続的に発展できる企業グループをめざしています。



古河電工グループ総合技術展



Aluminium China 2007



小山田記念賞盾



Furukawa-sky Review No.4

社会への取り組み

お客様との関わり

品質向上と新製品開発によりお客様満足を追求しています。

基本的な考え方

当社グループでは、経営理念に「お客様満足の追求」を掲げています。これに基づき、グループ全体が一丸となって、お客様に満足いただける品質の維持・向上と、新製品の開発による社会貢献に重点を置いて、お客様第一の事業活動を展開しています。

品質保証活動

当社グループでは、「品質に関する会社全体の方針」をもとに、設計開発時のデザインレビューや日常の品質トレンド管理など、研究開発、生産技術、購買、営業などの各部門がそれぞれ責任を持って品質保証に取り組んでいます。

顧客満足度調査

各工場では、ISO9001で定められた顧客満足度(CS)調査として、クレーム、コスト、納期、開発対応、迅速対応度などの観点からお客様へのアンケートなどを定期的実施しています。

現場部門の品質教育

2006年に制定した「品質管理教育指針」に則り、2007年から、スタッフだけでなく、工場作業長、職場長、QCサークル世話人の現場部門を対象としたOFF-JT※1を開始しました。(財)日本科学技術連盟の「品質改善のための問題改善力実践講座」「品質管理基礎講座」といった外部セミナーと従来から実施しているOJT※2を組み合わせ、OJT、OFF-JT両面からの教育を進めています。

「クレームの発生防止は、現場作業者の品質意識・感性がなければ実現できない」との考えから、「現場力の強化」に力を注いでいます。

※1 OFF-JT：職場とは異なる場所で教育を受けること。

※2 OJT：職場で業務を経験しながら教育を受けること。

深谷工場で「TS 16949認証」を取得

深谷工場において、2008年2月に自動車産業用の品質保証規格である「ISO/TS 16949:2002」の認証を取得しました(審査登録機関:SRI)。認証の適用範囲は、「自動車用のアルミニウム合金の薄板及びコイル製品」です。

同工場では、欧米の自動車メーカー向けに自動車ボディーパネル用の「超塑性アルノービ材」を製造しています。近年、グローバル調達を進める国内自動車メーカー・自動車部品メーカーからは、TS認証適合レベルの品質が要請されていますが、同工場の自動車用アルミニウム材料はこれに十分応えるものです。

お客様への情報発信

当社グループは、お客様に当社グループの技術開発力や製品の特長をご理解いただき、永続的かつ強固な信頼関係を構築していくため、展示会や製品カタログ、ウェブサイトを通じて、積極的な情報発信に努めています。

展示会

2007年10月3～4日に開催された「古河電工グループ総合技術展」に、自動車材をはじめとする輸送・エレクトロニクス分野などの製品を出展しました。また、2007年8月28～30日に中国・上海市で開催されたアジア最大規模のアルミニウム産業展「Aluminium China 2007」にも、日本のアルミ圧延メーカーとして初めて出展しました。

技術研究論文誌「Furukawa-Sky Review」

2007年4月に発行した技術研究論文誌「Furukawa-Sky Review」の4号では、「ろう付け」「高温成形」「表面反応観察」など当社の特長ある技術をわかりやすく紹介する技術解説や技術紹介を掲載しました。また、小山田記念賞*を受賞した「基板ホルダー」の技術論文、英語論文を掲載し、内容の充実を図りました。

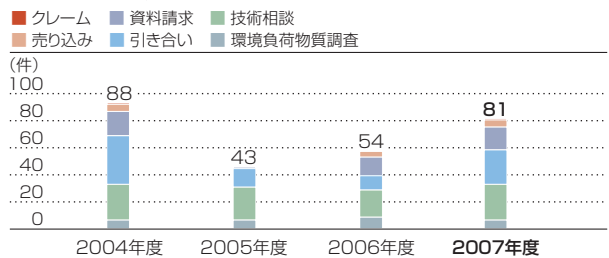
* 小山田記念賞：軽金属製品に関する優れた技術の発明、研究の功績に贈られる賞。

技術に関するお問い合わせ対応

当社では、お客様からのお問い合わせに迅速かつ的確にお応えできるよう、ウェブサイト上に「お問い合わせコーナー」を設けています。このコーナーに寄せられる内容は、アルミニウム材料の引き合いのほか、使用に関する技術相談、資料請求が多く、1次対応する技術者を決めてクイックレスポンスに努めています。なお、お客様の個人情報、「個人情報保護方針」に沿って適切な保護に努めています。

また、代表電話へのお問い合わせの場合も、担当者が迅速にお応えできるよう工夫しています。

問い合わせ件数



お客様からの評価

三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所様からの「取引先優良賞」表彰

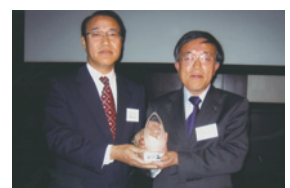
2007年11月、三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所様から当社が「優良取引先」として表彰されました。押出・鋳物・鍛造製品を生産している小山工場における納期改善・品質などが評価されました。



三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所様より「取引先優良賞」を受賞

GAC(株)様からの「品質賞」受賞

2008年4月、当社が自動車用エアコンの押出配管やフィン材を納入しているGAC(株)様から、2007年度の品質向上への取り組みが評価され、「品質賞」を受賞しました。



GAC(株)様より「品質賞」を受賞

仕入先様との関わり

仕入先様と対等な立場で公正・透明・適正な取引に努めています。

基本的な考え方

当社グループは、自由競争の原理に基づいた公正、透明、適正な調達活動を行うことを基本としています。

調達実績のある仕入先様と新しい仕入先様を問わず、公平に選定し、国内外に開かれた調達活動を行っています。また、新しい機能や従来品の代替機能を持った商品の購入を推進するなど、新たな商品の採用にも積極的に取り組んでいます。

仕入先様や調達品の選定は、競争力のある仕入先様から適正な調達ができるよう、価格、品質、納期、安定供給能力、信頼性、環境への配慮などを考慮し、合理的基準を持って行っています。また、経済、社会環境の変化に対応し、適正な調達を行えるよう、仕入先様、調達品、調達方法、調達条件について、常に最適化を心掛けています。

調達活動におけるコンプライアンス

適正な調達活動を行うため、常に関連法規を遵守する仕組みの向上を図り、遵法の徹底に努めています。特に下請法関連事項については、社内で講習会を定期的を開催するなどして、その遵守に努めています。また、購買部門の倫理規定を設けるなど、仕入先様との対応にあたる購買担当者の私的な不正行為を排除し、社会倫理を守っています。

なお、調達活動で得たお取引先様の機密情報は、適切に管理・保護しています。

2007年度の取り組み

システムを活用した購買プロセスの管理

全社の購買に関する業務プロセスを標準化し、2006年4月からCSRの要請事項を踏まえて設計した「資機材購買システム」の運用を開始しました。これにより、各部門の購入依頼から注文、検収にいたるまでの状況を把握できるようになり、統一ツールのもと、全社購買活動を適切に管理できるようになりました。

事務用品のグリーン調達

当社は、事務用品について、エコマークなどが表示されているグリーン適合品を優先して購入しています。2007年度は、新たに選定品目としたものを含め50品目を選定しました。

当社では、グリーン調達率^{*}の向上を進めており、2007年度のグリーン調達率は99.2%となり、年度目標を達成しました。さらに、2008年2月以降は全事業所でグリーン調達率100%を維持しています。

2008年度は、再生紙の偽装問題も考慮し、対象品目を41品目に絞ってグリーン適合品の購入調達を進め、グリーン調達率目標も前年度と同様99%以上の達成をめざします。

^{*} **グリーン調達率**：全グリーン購入対象事務用品の全購入件数に占めるグリーン適合品の購入件数の割合。



エコマーク



グリーン購入法
適合商品



グリーンマーク



グリーン購入
ネットワーク



省エネ
ラベリング制度



国際エネルギー
プログラム

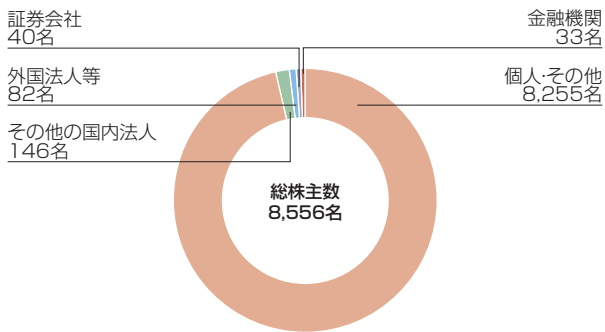
株主・投資家の皆様との関わり

株主・投資家の皆様への公正で迅速な情報開示に努めています。

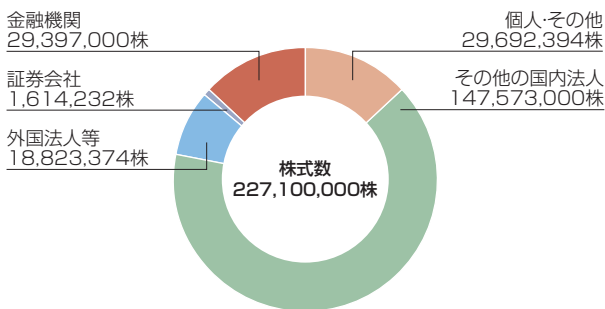
基本的な考え方

当社では、株主・投資家の皆様をはじめとするあらゆるステークホルダーへの積極的な情報発信を「行動指針」に掲げており、担当部門として「広報・IR室」を設置し、公正で迅速な情報開示に努めています。

株主構成比率(2008年3月31日現在)



株式分布状況(2008年3月31日現在)



配当政策

当社は、株主の皆様に対する配当の実施を利益還元の重要な施策と考えています。配当は、業績に対応することを基本方針としながら、将来の収益動向も踏まえつつ、企業価値の向上に向けた将来の事業展開などを総合的に判断した上で行うこととしています。

2008年3月期は、この基本方針に沿って、1株当たり年間8円の配当(うち中間配当4円)を実施しました。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

当社は、毎年6月末に定時株主総会を開催しています。株主総会では、当社製品の展示や事業戦略の紹介などを通じて、株主の皆様当社への理解を深めていただけるよう努めています。

また、国内の機関投資家や証券アナリストの皆様に対しては、本決算・中間決算発表時にラージ・ミーティングを開催するとともに、個別取材やワン・オン・ワンミーティングに随時対応しています。このほか、投資家向けの工場見学会を開催しています。

株主・投資家の皆様への情報発信

当社は、株主・投資家の皆様への情報開示を充実させるため、業績や財務状況などを報告する「株主の皆様へ」を年2回(6、12月)、会社概要や財務関連データを報告する「Fact Book」を年1回発行しています。

また、当社ウェブサイト上に設けた「IR情報サイト」では、IR資料の検索性向上や「よくある質問」コーナーの新設など、株主・投資家の皆様がさらに利用しやすいものになるようリニューアルしました。



株主の皆様へ



IR情報サイト



Fact Book 2008

地域社会との関わり

地域社会とのコミュニケーションに積極的に取り組んでいます。

基本的な考え方

当社グループは、事業を展開している各拠点において、地域社会に調和し、共存共栄できる関係づくりに努めています。

地域清掃

各工場では、地域社会の一員として、工場周辺や河川の清掃活動を行っています。

ゴミゼロボランティア(深谷工場)

深谷工場では、埼玉県深谷市が市内全域で春秋に実施している「ゴミゼロ運動」の活動に合わせ、2007年6月15日、10月20日に「ゴミゼロボランティア」を実施しました。各回とも約60名の有志ボランティアが工場近くの前ノ川周辺を中心に、道路沿いのゴミ拾いなど周辺地域の美化活動を行いました。



ゴミゼロボランティアの様子

美化活動(福井工場・小山工場・日光工場)

福井工場では、福井県が推進している環境美化活動「クリーンアップふくい大作戦」に継続的に参加しています。2007年は9月4日、12月6日に、各回とも約80名の従業員が参加し、工場周辺の美化活動を実施しました。

また、小山工場では各回40名近くの参加者を募り、美化活動を5回、日光工場では、6月18日に従業員約60名による工場周辺の清掃活動をそれぞれ実施しました。



「クリーンアップふくい大作戦」の様子

施設提供・開放

各工場では、近隣の小中高校や大学、授産施設に、教育や活動の場として施設を開放しています。

産業フィールド実習(小山工場・日光工場)

小山工場と日光工場は、近隣の大学の授業の一環である「産業フィールド実習」の実習先となっており、小山工場では2008年1月に医学部学生106名と2月に看護学生11名を、日光工場では2月に看護学生11名を受け入れました。

実習では、当社の安全管理体制や従業員の健康状況、衛生活動の状況について説明した後、生産現場での安全衛生管理の様子を見学していただきました。



産業フィールド実習の様子

授産施設に食堂施設を開放(小山工場)

小山工場では、2006年から昼休みの間、近隣の授産施設に食堂を開放し、授産施設に通う方々がつくるパンやお菓子を販売していただいています。

2007年からは、同地区にある鑄鍛工場の食堂も開放し、月2回のペースでご利用いただいております。従業員は、手作りで素朴な味のパンなどを昼食や夜食として買い求めています。



授産施設に食堂を開放してパンを販売

寄付・寄贈

各工場では、地域への寄付・寄贈を積極的に実施しています。

古河スカイ障害福祉基金(深谷工場)

当社が障がい者の雇用確保のため設立した特例子会社FSグリーンネット(株)をサポートする一環として、2007年9月、埼玉県深谷市によって「古河スカイ障害福祉基金」が設立されました。

同基金には、当社や深谷地区の関係会社も寄付しており、障がい者福祉施設の支援に使われています。2008年1月には、当社も参加した審議会で7施設の助成を決定し、助成金は各施設で設備の改修や設置などに利用されました。



「古河スカイ障害福祉基金」を伝える福祉施設の情報誌

送迎バス購入費の寄付(福井工場)

福井工場では、2008年3月に福井県坂井市の養護学校の送迎バス(車イス用リフト付き)の購入費の一部を寄付しました。

これは、養護学校に通学されている生徒の父母の方々から福祉バス導入への要望があったことを受けたもので、今後5年間にわたってマイクロバスの取得価格に到達するまで寄付を続けます。



福祉バス寄付への感謝状

地域社会との交流

各工場では、工場見学会や事業所内での祭りの開催や、地域のイベントへの協賛・参加などを通じて、地域住民の方々や従業員の家族との交流を深めています。

工場見学会・学校訪問(福井工場)

福井工場では、従業員の家族や近隣の小中高校を対象に、工場見学会や学校への出張訪問を実施しています。

2007年度は、工場見学会については合計204名の方々に工場内をご覧いただきました。また、学校訪問は近隣の学校を中心に34校を訪問し、社会科学習やリサイクル学習の一環として、当社の企業活動について説明しました。



学校訪問の様子

三国祭り(福井工場)

福井工場では、2007年5月に福井県坂井市で行われた北陸三大祭りの一つ「三国祭り」に協賛・参加しました。

福井工場青年部のメンバーを中心とする21名が、巨大な人形を載せた山車(やま)を三国祭保存振興会与合同で引き、山車人形(継体大王)を三国神社に奉納しました。



三国祭りの山車

深谷秋祭り(深谷工場)

深谷工場では、2007年9月に工場敷地内グラウンドで「深谷秋祭り」を開催しました。従業員とその家族を中心に2,500名を超える方が参加されました。

また、祭りに先立って従業員の家族を対象に工場見学会を実施しました。



深谷秋祭りの様子

従業員との関わり

多様な従業員が安全に生き活きと働ける環境整備を進めています。

安全衛生の確保

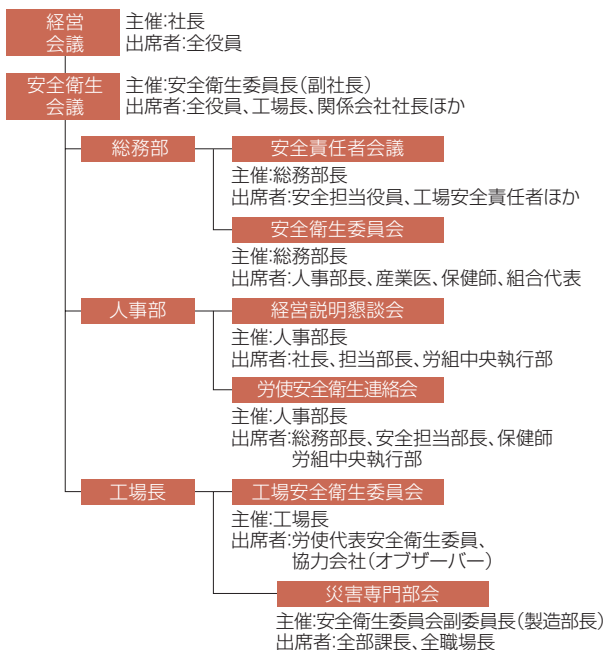
安全衛生管理体制

当社は、従業員が安心して働ける労働環境づくりについて審議する「安全衛生会議」を毎年1月と7月に開催しています。1月の会議では、安全成績・長期傷病の実態や健康診断結果に照らして、前年12月に全工場の安全責任者(課長)が集まる「安全責任者会議」で策定した全社安全衛生活動方針と重点実施項目の再確認を行っています。

7月の会議では、半年間の活動結果や各工場固有の問題点などを経営層が評価し、必要に応じて助言・指示を与えています。

「安全責任者会議」は、月1回開催しており、現場の巡視や活動方針の進捗確認を行っているほか、活動課題について議論しています。

安全衛生管理体制



2007年の取り組み

2007年は、①5S活動、②新人教育と作業標準作成、③設備の本質安全化(C規格化※¹)とリスクアセスメントの導入、④タテ・ヨコ・ナナム※²のコミュニケーションの推進、⑤心と身体の健康づくりを重点実施項目として定め、各工場でこれに沿った取り組みを推進しました。

特に新人教育では、教育ノートの活用、教育計画の立案と習熟度チェックの実施を全工場徹底しました。また、工場で操作盤の名板が消えたものや薄くなった設備・装置を調査し、新人が誤操作しない環境づくりにも努めました。

※¹ C規格化: A規格(安全の定義)とB規格(設備の共通規格化)に基づき、個別に設備の安全事項を決めること。

※² タテ・ヨコ・ナナム: タテは上下関係、ヨコは同じ職制や職場・工場、ナナムは労働組合や協力会社、関連会社など。

2007年全社安全衛生活動方針

1. 目標

休業災害 ゼロ(各工場、協力会社)
長期傷病休業件数率 新規1.0%以下

2. スローガン

基本を守り 全員一丸で 安全職場を作ろう!

3. 基本方針

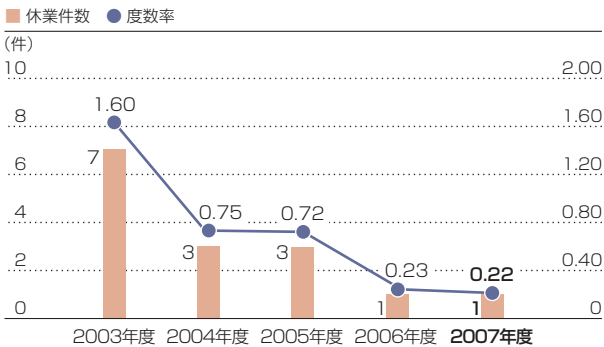
- (1) 職場の基本5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつこ)をしっかりとキッチリ
 - 安全5Sパトロールを災害多発職場へ重点実施
- (2) 基本を守り、不安全行動をしない人づくり
 - 新人・配置転換者等には親切に教えよう(教育計画・実行・習熟度評価と教育ノート活用)
 - 生きた作業標準づくりとルールを守る人づくり
- (3) 基本を守り、不安全行動できない職場づくり
 - リスクアセスメントの実施とC規格化の推進
- (4) タテ・ヨコ・ナナムのコミュニケーションで明るい職場づくり
 - 全工場、協力会社と一体となって
 - トップから作業者までの対話を通して
- (5) 心と体の健康づくり
 - 明るく進めるメンタルヘルスケア
 - 産業保健スタッフを中心とした生活習慣病対策の推進

労働災害の発生状況

当社の2007年の安全成績は休業災害1件でしたが、協力会社では休業災害が2件発生し、全社的に労働安全の徹底は図れませんでした。

このため、2008年は、職場の隅々にまで労働安全に対する意識の再徹底を図り、「ゼロ災害」の達成をめざします。

労働災害の発生状況



5S活動

5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)活動は安全、品質、生産性など、すべての改善活動の基本です。当社は、この活動を徹底することで、企業体質の変革をめざしています。

2007年は、「全社安全衛生活動方針」に5Sの徹底を掲げ、相談役・副社長・全社5Sチーム員による各工場を対象とした5S巡回や、全工場での設備周囲で、5Sが行き届いていない場所での推進・定着を進めました。



5S活動での女性委員会の様子

心身の健康づくり

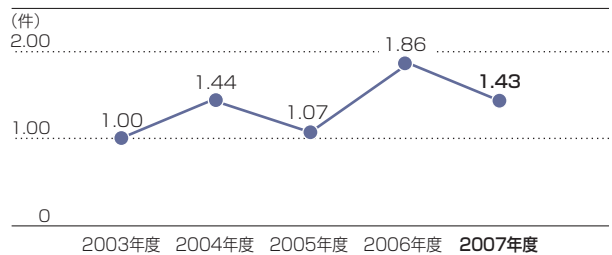
当社では、産業医や健康管理スタッフが一丸となって、従業員の心身の健康づくりを支援しています。

● 生活習慣病対策

当社の2007年における30日以上休業した新規長期傷病休業者率は1.43%となり、目標としていた1.0%は達成できませんでしたが、前年に比べ0.43%減少しました。これは、ガンやうつ病などによる休業者の減少によるもので、高血圧、糖尿病などの生活習慣病による休業者は横ばいとなりました。

今後も、産業医・看護職による面談や食事指導、運動指導を実施していきます。

長期傷病休業件数推移



● メンタルヘルス対策

2007年は、精神疾患による休業者は減少しましたが、従業員やその家族を対象に提携先の医療機関に設置している「こころの相談窓口」は引き続き開設しています。

また、部下への気づきと対応をテーマに、管理監督者を対象としたメンタルヘルス教育を実施しています。

● 長時間勤務対策

当社の規定を超える長時間勤務者には、産業医面談や健康チェックを実施し、健康管理を行っています。

● アスベストによる健康障害への対応

現在ではアスベストを使う作業はありませんが、過去の使用作業を調査し、退職者も含め作業従事者には、石綿健康診断を行いました。

アスベストに起因する疾病は、暴露してから20~30年の長い年月を経過してから発症するため、今後もフォローを継続していきます。

働きやすい職場づくり

人権の尊重

当社は、従業員の人格・個性・多様性を尊重するとともに、社内連絡窓口や外部通報窓口を設けるなどして、セクシュアルハラスメントをはじめとする不合理な差別や嫌がらせの防止に努めています。

また、ポスターの掲示やハンドブックの配布などを通じて、従業員の意識啓発に努めています。

多様な働き方の支援

当社では、従業員一人ひとりのライフスタイルを尊重し、従業員が会社生活と家庭生活の充実を図れるよう各種の支援制度を用意しています。

2008年度からは、男性従業員が育児休業を容易に取得できるよう制度を改善し、実績もあげています。

多様な働き方に対応する制度

制度	目的・内容など
フレックスタイム制度	業務の繁閑にあわせて効率的・計画的に仕事ができるよう、フレックスタイム制度を導入しています。
積立休暇制度	毎年の各人の休暇の残存日数のうち、10日を上限に積立休暇に繰り入れることができます。(5年間有効で最大50日となります)
育児休業制度	子供が満1歳に達した後の最初の4月末日もしくは1歳6ヶ月になるまでの間、従業員が申し出た期間を休業することができます。育児休業期間に上記積立休暇を利用することで、有給での利用も可能となりました。
介護休業制度	配偶者・子供・両親(配偶者の両親を含む)に介護が必要な場合、一定の条件を満たせば1年以内で休業することができます。
看護休暇制度	中学校入学前の子供の傷病の看護のために看護休暇を取得できます。また、子供の看護のために積立休暇を利用することも可能です。
シニアキャリア制度	60歳定年に到達した全従業員を対象に、一定の条件を満たす希望者には1年単位での再雇用契約を結び、厚生年金定額部分の支給開始年齢を上限として、引続き勤務できます。また、本人の希望により、短時間勤務も可能です。

人材育成・開発

基本的な考え方

当社グループでは、個人が能力を最大限発揮できるよう、人材の育成・開発に努めています。

すべての従業員から「古河スカイグループで働いて良かった」と思われるよう、会社と従業員が互いの能力や価値を高めあう発展的な関係の構築をめざします。

雇用方針と採用活動

当社では、「長期的・安定的な雇用確保が企業の重要な社会的責務である」という認識のもと、従業員の長期・安定雇用に取り組んでいます。近年、いわゆる“団塊の世代”が定年を迎えていることから、毎年の状況変化を加味し、将来を支える次世代層の採用・育成活動を計画的に実施しています。また、直接雇用の従業員(嘱託社員・パートタイマーなどを含む)以外にも、関連会社からの出向者や派遣従業員の方々も含めて、適切に人員を配置しています。

また、2006年春入社の新卒入社者から、古河スカイとしての採用活動を実施しており、大学卒・大学院修了者では、2008年4月に技術系17名、事務系7名の合計24名が入社しました。また、中途採用や工場技能職の採用など、多岐にわたる活動を展開しています。

従業員の成長の支援

当社は、従業員の配置や担当職務の決定に関しては、「適材適所」「機会平等」の考え方に立ち、「古河スカイ コミュニケーションシーズン」と名づけた上司と部下とがコミュニケーションをとる場を設け、従業員各自が上司と一緒に自身自身のキャリア形成を考える機会を提供しています。

また、「企業は人なり」と言われるように、企業としての力は従業員各人が仕事で発揮した能力の総和であり、その従業員の能力は日常の業務遂行を通じて実践的に培われることが基本だと考えています。こうした考えのもと、当社はOJTで従業員一人ひとりに成長を促すとともに、意欲ある従業員の主体的な能力開発をサポートするため、研修・通信教育・資格取得支援などの機会を積極的に提供しています。